

Topics

## 浜松で複数企業出資のまちづくり会社が立ち上がる 中心は県メンターのHACK・高林氏

先月、浜松市内の地域課題解決を目的に「やらかしまいか株式会社」が設立されました。スズキや遠州鉄道など、8社が参画して作られたもので、社長を務めるのは、県のメンターでもあるHACK・高林健太氏。元眼科のビルをリノベーションした施設を拠点に活動します。



高林氏は、浜松市の遠州鉄道高架下にある新川モールの活用や、「水曜日のヨル喫茶」の運営を手掛ける実践者。先日の「しずおかリノベーションまちづくりフォーラム2026」に登壇した際も、まちづくりに企業が参画する重要性を語っていました。

新会社は、一企業では解決できない課題が増えてきた中で、「人が活躍し続ける仕組み」を持続的にどう生むかに軸を置く方針で、拠点となるビルは、1階をカフェや交流スペース、シェアキッチン、2階は民泊、3階はクリエイティブ分野の事務所としての活用を検討しています。

### 高林 健太氏 コメント

「地域企業が横でつながり垣根をなくし、まだ見出されていない社員の才能を発掘し、さまざまなプロジェクトを通じて個の成長ができる環境をつくっていきます。」